「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2014 年 8 月 28 日

8月28日（木）にがん進展制御研究所棟４階会議室において、九州工業大学大学院情報工学研究院 生命情報工学研究系准教授 青木俊介先生を迎え、「バーチャルスクリーニングによる創薬リード化合物の低コストな探索手法の開発とその応用」と題してがん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、標的タンパク質の結晶構造に基づいて、分子内ポケットにドッキングする化合物を、安価なコンピューターを用いた並列演算、無料で使用できるドッキング計算のソフトなどを組み合わせて高効率に見つける技術についてお話し頂きました。現在、新たな抗がん剤開発において、がん代謝と代謝酵素阻害剤が注目されており、抗がん剤候補のスピーディーな探索にも応用が期待されます。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約40名が参加し、とても活発な質疑応答や意見交換が行われました。

がん進展制御研究所セミナー

演　題

バーチャルスクリーニングによる創薬リード化合物の低コストな探索手法の開発とその応用

講演者

九州工業大学 情報工学研究院・生命情報工学研究系

准教授　　青木 俊介　先生

日　時：2014年8月28日（木）17:00 ～ 18:00

場　所：がん進展制御研究所 ４階 会議室

新規の標的タンパク質が同定されると、阻害分子の創製に向かうことがありますが、アカデミアらしい独自の手法で挑戦したいところです。

青木先生らが確立した階層的バーチャルスクリーニング技術はヒット率が高く、初期化合物スクリーニングのヒット率は20～30%（通常は2～3%）に及びます。また、青木先生はヒット化合物の活性向上を低コストで実現すべく、テーラーメード化合物構造ライブラリを構築し、合成展開を加速させる基本原理の研究・開発を行っています。

皆様、奮ってご参加ください。

連絡先：松本邦夫（がん進展制御研究所・腫瘍制御研究分野）（内線：6745）